京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬
印刷人　松久耕一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

漢京だより

北韓山生

▲雨少き韓の都の初夏は實に心地好く御座候、青葉若葉の濃き淡き緑褪せざらん程は、満目荒涼たる此の地の冬を送りし吾等とて故國の野山偲しとまでは覺へず候ものから、山杜鵑、初鰹の賛のみは申されず候。

▲聞るかはり、吾等の前に供せらるゝ膳羞亦決して乏しからず、是れより時々折り〳〵の献立てを報じ可申候間、御羨み下され度候。

▲先ず目ぼしきは、前の北米合衆國大統領ルーズヴェルト氏が満韓視察の噂にて候、何しろ古今稀世出（不世出と云はず）の傑物が、耶蘇宗權の總攬者たる羅馬法王に楯を突き、獨のカイゼルと臂をとつての懐交に見舉彼れが國の平民王たる聲價を贏ち得たるに際り會ては東洋のバルカン半島と評されたる韓京及方今極東に於ける外交問題の搖籃たる満州を訪はんとす、人の耳目之れに向ふも亦無理ならぬ處に候。

▲去りながら、吾輩は氏が此行に對して餘りに多くを望むべからざるものなるを信じ候、満韓の事、吾れの爲すべきは即ち之れを爲し、行ふべからざるは敢て之れを行はず、氏正しく眞相を看破せば幸甚、否らざるも亦己を得ざるてあるらして臨むべき筋の者に御座候

▲吾輩は寧ろ氏が大統領として敢爲、敢行荷も常道を逸せざる邊に於て即ち正を蹈むで奇功を奏したるに深き興趣を感じ、氏の巴里に到るや既に久しく呪はれたる女を、懸管に、今更に呪へりとの故を以て偉なりとせらるゝに對しては一入の興趣を感じつゝ、彼の偉人を此地に迎へ、其が英風に接するを得るの日を撲指して相待ち居候。

▲京城理事廳の下手には地獄谷と呼ばるゝが有之候由、南大門外には地獄通といふが有之候、處は南大門より停車場に至る云はゞ京城の玄關にして、晝間は人馬雜踏の危險區にて、夜間は薄暗き街燈の二三明滅するあるのみ、凸凹の道路に躓き倒るゝは尚且可、電車の線路に生爪を蹴剥く者も決して稀有ならず、夜更けては剽盗も出象ねまじき物騒千万なる有樣に御座候、京城は恐ろしき處にて候也。

鯨屋伊右門 翁の鯨談（一）

翁は肥前の國湊に生れ、明治三年十九歳の折、世界周漁の米國捕鯨船に投じ艦で諾威式捕鯨汽船に乗込み、二十餘年間斯業に從事した人である、今左に東洋捕鯨會社發行の『くぢら』にあると拔粋す

（一）鯨の名稱　鯨は英語の古語ではウエール只今の車輪ホウイルと云ふ意味で和漢では鯨、鯢、鰡魚、海鰍、海䲡、魚王などゝ稱してある、諾威では鯨をウエールと云つて更に種類を分て脊美鯨をノルドケープル、ウエール座頭鯨をカナール、ウエール長須鯨をフイン、ウエール抹香鯨をスマルマセット白長須鯨をブロー、ウエール小さい種類の長須をセイウエール逆戟鯨をスペクガルと云つてゐる。

▲和漢古來の鯨名　捕鯨圖識に據れば鯨は莊子に鯢、雷州府誌に海龍王、事波府志に浮礁とあり、左傳に鯨の雄を鯨又敬と云ひ、雌を鯢と云ふ、佛書の大寶積經及佛本行集經に摩竭魚王と稱す、我邦にては日本記、万葉集等に勇魚即ち伊佐灘と訓し文知良と載す、奥議紗にある衣通姫の歌に曰く

とこしへに君もあへやもいさなとり海のはまものよるとき〳〵を

萬葉集柿本朝臣人麿の歌に『いさなとり、うなひをさして、にきたつの』とあり又西海鯨鯢記に據れば和語にクジラといふは皮の上黒く其下白きゆゑ、シロクロ即ちロとラと五音相通じ略してクジラに轉化したりと。

（二）鯨の手足　鯨は人間同様生れた時は乳で育つた者で外見は魚の様に胸鰭もあれば尾鰭もある、併し胸鰭の皮と肉と取去つて仕舞つたら、私共の指の様な骨があつて、脊美鯨は五本座頭鯨は四本備つて居る、尾鰭の方には全く骨が無い、そして魚類の尾鰭の様に縦に立つ居らずに、横に平になつて二つに分れて一つは上の方に圓く凸張つて、一つは反對に下の方に圓く凸張つて交錯に爲つて、泳ぐ時は魚類の様に左右に以動かさずに上下に動かす、そして海中に潜ると二三百尋も深い底に行くのは珍らしく無い、また世間では

（三）鯨の潮吹　と稱へて潮水を頭から吹出すものゝ様に思ふてゐるが決して左様のものでは無いのである、鯨が海面に出て人間の呼吸と同様、吹込んだ空氣を鼻から吹出す時に體温で温まつたのが、外の冷たい空氣に觸れて蒸氣と成つて見へるので、冬の寒い時に人間の吸呼が白くなつて口から出るのと同じ理屈である、そして此の吸聲く響は却々大きい音がする、静かな天氣の好い日和には十丁先きから能く聞へた事がある。

静躁昏明

六ケ敷課題

京城理事官三浦彌五郎君は、能く言論界に壓迫を加ふるので、一時は秘密萬能主義の我外務省育ちだからどいふものもあつたが此事を以て氏を責めるのは無理であることは現に角に判かつた、之れを外にしては氏は良理事官として、峻嚴なる社會の批判者たる言論界にも認められてゐるやうである、夫れといふも京城理事官の位置は、行政官とよりも事ろ氏の畠たる領事官に近いのも氏の男振りを上げる重なる理由の一に數ふることが出來やう、

此の良理事官、曾て京城の我居留民に一つの六ケ敷課題を課した、時は理事官が京城水道會社と紛紜を惹起せし折のこと、水道會社が不埒にも居留民に濁水を喰はさんとせしに際り其の怯へ料ぞ〆め揚げて屆出でよと居留民に達したものだ、これには流石の大和民族も聊か恐れを作したといふのは居留民の大多數は外交の素養が無いのと白人の如く感情的な權利思想が無いからでもあらう、遂に此の課題に明答を與へたものは多く無かつた、デ此の事ありてより氏は感情の人と見らるゝやうに成つたそして豪傑では無い才人であるといふのである、才人でありながら豪放磊落に見ねるのは氏が最大なる努力と慘憺たる苦心の存する處であらしい、斯くて、事務を執る敏に、機を見る鋭に、而かも粗放磊落なる麻訶不思議の豪傑とやらに見做されたりし三浦彌五郎其人は、其の居留民に與へたる六ケ敷課題の答解の代りに自らの爲人を解釋されたのであつた。

日本銘刀傳

第百卅六席　邑井一講演

津田近江之守（四十）

さてれさうは、毎日〳〵唯だれ化粧を勤めのやうにして、磨き立て居りますから、妹のれようと見擬うばから綺麗に相成りました、固よりれようの方はれそうよりは容色が美ふございますが今は貧乏して居りまするし、況して子供が出來て劣等い粉装をして居りますが、姉のれそうは當時助廣の世話になつて毎日のれ化粧でございますから、年齢は固より少し老つて居りますが若く見ゑます、其上に亦姉妹とは云ひながら、眉目容貌變色に至る迄、酷く肖て居りますから、當時では以前のれようと見擬うばかり美しくなりました、彌うなつて來ると婦女と云ふものは、又一方には吝嗇な……併し總體の婦女を吝嗇と看做すは恐入りますが、先づ吝嗇な心が起りますやうなもので、前にれように助廣から借りてやつた二十兩の金子を（與作助廣の本名）には何んにも言はず、自分から性急で催促を致します、了ひには姉妹の差別もなく嚴しく催促をするやうになりました、固より金錢づくより親子親族も、不和になると云ふ事は能くあるやつで、算いものは金錢、又卑しむべきものも金錢でございます、で姉の催促が嚴しうございますから三藏夫婦は誠に氣の毒に思つて居ります或日れようは、三藏に向ひ

よ『三藏さん　三『何だい　よ『姉さんが近頃になつて彼の二十兩のれ金子をどうも酷い催促をするが、旦那が彼んなに吩咐けて催促するのではなからうと思ふが餘り姉さんも酷い人じやないかネー　三『爾うさ……直きに返還さうと言つたのが斯んなに長引いたのだから、催促するのも無理ぢ無い、俺も商賣に取り掛からうと思ふが、何をしても齒をしても、思ふやうにはいかず、寧ろ以前の船乘業にならうかと思つて爾う斯うして居る中に段々と延引になつて姉さんにも濟ない譯さ　よ『ナニ宜いよ三藏さん妾は助廣さんに、直接に談合をして見やうと思ふが……　三『ナーニそれは不可　よ『乾度爾うした方が宜いよ、且那さんは佐野春で遊んで居なさるから、れ茶屋へ往つて妾が直接にれ願ひ申したら、姉さんも左程手嚴く催促しますまいと思ひます、其上に近頃妾は蘆張姉さんの所へ往かなかつたが世間の噂を聞くと、姉さんは、助廣さんの世話になつて、安西邊の綺麗な家に引越して、大層粧飾して居ると云ふ事だから、妾は何ほ〳〵姉さんの所へは往き惡いから、助廣さんに直接にれ願ひ申したら宜からうと思ふが……宜からう　よ『れ前さんさへ宜ければ妾は往つて來るよ　三『ジヤア斯うしねへ何んぞ土産でも買つて持て　よ『土産物は要らないよ　三『髮でも結つて來て　よ『髮も結はなくつても宜いよ　三『否や爾うでない借金の分疏に往くのに餘り穢ない扮装をして往くと、却つて人に卑下られて不可から、俺が衣服の算段をして來るから髮でも結つて……　よ『否へ衣服なんぞは要りません、是衣で澤山ですよ　三『俺だつて未だ衣服の算段位は出來る譯ら困つたつて三藏だ俺が衣服を調達へて來るから、れ前其内に髮を結つて、浴湯へでも這入つて準備をして居ねへ、と三藏は何處へ出て往つて了ひました、れようは本夫の吩咐けでございますから、れ浴湯へ這入り髮を結つて三藏の拾繰算段で調達へて來て呉れた垢の付かない着物を着チヤント帯を締めて坐つた容姿を見ると、是女は天性の美人でございますから、れ化粧をさへすれば、以前の通り美しくなります。



味ふ可き頭本元貞氏の演說

本篇は漢城基督教青年會頭タアナー僧正が主催せる頭本氏招待會に於て同氏の爲せる英語演說を意譯せしものなり

貴女紳士諸君、余は當漢城基督教青年會の爲に公けに認識を受くべき何事も成したる事なし、故に本日の御招待に就ては余は輕く敬意を受くべき所以を知らず、而かも斯く思ひながらも余が茲に出席したる所以の者は本日の此會合が余に向つて當地に於ける多數の余の舊友及び知己に會合する機會を與ふると信じたからである。

余は韓半島を第二の祖國と見做して居る、否な第一の祖國とも見做して居る、何となれば余は日本に於ける余の出生地の最初の移住者が此半島から來たものであることは確實であり、而して余は今日でも猶ほ白衣の漁夫が不絕余の出生地の海岸へ漂着することに因つて確かに證明され得るからである、余は又た曾て此半島に住せし故に以て今猶ほ余を呼ぶに韓人を以てするのである、而して余は斯く呼ばるゝを甘んじて居るのである。

開化を見ると余が當時の中に在りし三ケ年は余にとつて生涯中最も愉快にして且つ最も貴重なる期間であつた、余は常に記憶深き愉快と誇りとを以て當年を回想する、故に余が現在從事する事業にして終了せば此精神ある國へ再び余の住居を移さんことを望んで居る。

茲に本日余が此招待會に喜んで出席した所以は開化は無論のこと、各國男女の集合して一堂に會せしむる方便となるべしと信じたからである、各國男女の集合は國民間の親和と諒解とを增進するに就て必要なる貢獻を致すものと信ずるからである、此前進や宗教的信仰及民族の相違を離れ吾人の凡て共通の目的を有することは余の喜ぶ所である。

貴女紳士諸君、思ふに韓人は今や彼等の歷史上最も痛心に値すべき危機を經過しつゝあるのである、韓人の友たるものは其何人たるを問はず、彼等が今日の境遇を脱して過去に於けるよりは幸福にして且つ繁榮なる人民となりて發展せんことを希望して居るのである、然し斯る希望は永遠分離すべからざる共同の運命を有する人民とならんことを前提として初めて得らるゝのである。

來同一なりし人民の再結合

……が半島民族の永遠的幸福の爲に無事平和に行はれん事を余は希ふ所である。

貴女紳士諸君、余は余が心ならずもデリケートの問題に諸君の注意を向けたる事を恕せらるることと信ず、何となれば余の言はんと欲せし所は當地社會の各部の人々が一般に思ひ居る所を言顯はしたるに過ぎざればなり、望むらくは我等の希望を達する爲め各自の部分を勵まん哉を。茲に余と余の妻とに與へられたる本日の歡待に就て好僧正に感謝し、同時に諸君が余に向かつて清聽を玉はりたるを感謝す。

東京電報

▲政局發展時期

對韓政策に就ては目下諸種の準備を進捗中なるが政局の展開を見るは十月頃なるべしと（十日）

▲仲小路次官發途

仲小路遞信次官は水力電氣調查の用務を帶びて本日渡歐の途に就けり（同上）

▲對韓同志會總會

對韓同志會は明日總會を開き今後の運動方針を協議すべし（同上）

▲伏見大宮殿下

伏見大宮殿下には八日莫斯科御出發哈爾賓に向ひ歸朝の途に就かれたる旨其筋へ通知ありたり（十一日）

▲朝香宮御歸京

大廟御參拜の爲め西下中の朝香宮同妃兩殿下には明十一日京都御出發御歸京の御豫定なり（同上）

▲攝政王御來朝

獨逸メクレンブルグ攝政王同妃兩殿下には來る十六日神戶御着即日御東上の御豫定なるが伊藤公は御出迎の爲め神戶に出張を命ぜられ尙福島中將吉田式部官は神奈川に出張を命ぜらる

▲前統監の重態

曾禰前統監は痼疾益々重態となり患部の疼痛甚しく人事不省に陷る事あり居れり（十一日）

▲重要問題調查

寺內新統監は重要問題に就き何人も與らしめず統監に意を潛めて最も秘密に調查し居れり（十一日）

▲統監片瀨訪問

寺內新統監は一兩日中曾禰子を片瀨に見舞ふべし（同上）

▲石塚氏の轉任

石塚參與官は千葉縣知事に轉任に內定せり

▲帝國教育會總會

帝國教育會總會は學制改革實施の件に付本日協議會を開きたるが絕對的反對論者多數なるを以て議論沸騰して議遂に纏らざりし（同上）

▲遞信次官の代理

仲小路次官渡歐に付き小松通信局長は不在中遞信次官代理を命ぜられたり（同上）

▲岡氏辭任發表期

岡次官の辭任は後事務の引繼を了りたる上發表さるべし氏は辭任後當分官途に就かずとか（同上）

伯林電報

▲日露協約進捗

日露協約は露都に於て頻りに進捗を急ぎ重要事項は大略協定を終りたりと確聞す（十一日）

▲協商と外交界

歐洲の外交界は勿論獨佛の諸新聞は日露協商の進行に關し多大の注意を拂ひ該協商の內容を揣摩し種々の評論を試み居れり（同上）

雜報

太皇帝の御見舞

太皇帝には首相李完用氏の容體に就て深く御軫念あらせられ承寧府副總管朴齊斌氏を溫陽に差遣せられ親しく病狀を御尋ねあり李首相も聖旨に感泣したるが朴氏は十日夜內閣書記官長韓昌洙氏と同列車にて歸京したり

單軌鐵道の敷設

英人ブレナン氏の發明に係る獨樂式單軌鐵道のことに就いては既に屢々紹介する所ありしがアラスカ州シーワード市の建設者たるベーレン氏は同國の富源開發の爲め單軌鐵道を敷設するの意あり曩頃來發明者たるブレナン氏と交渉中なりしが今回愈々アラスカに對する單軌鐵道專有權を得たるを以て取敢ず百哩間の敷設を行ひ尙は將來に於て追々之を延長せしむる計畫なりと云り

警察部長の補缺

目下缺員中の警察部長選任に就ては岡次官東上して各方面に交渉を遂げたるも內地に於ける官吏增俸の影響と韓國地方官の權限餘りに狹少なる等の關係により一人の之に應ずるものなく隨て內地よりの招聘は遂に越權計劃に屬したるを以て已むなく現任警視中より補缺するの外なき次第となれり而して茲に警視廳は專ら警視八名を有し猶頗大の京城に於ては寧ろ過多に失するの觀あれば此內より適任者を物色して補缺の急務を糊塗せんとの議あり且つ京城は比較的整頓せるも地方は尙未だ草創の觀ありて一日も缺員を許さゞれば多分成立すべしと云ふ

教育統一の眞相

近着の東京電報及內地新聞に日韓教育統一の議ありて文部省と統監府と交渉中の旨報せられ而して其內容は韓國人の教育統一にあるが如く傳へらるゝも右は本社の先きに報道せし如く在留邦人に關する必要上京城に統監府師範學校を設立せんとの議起り文部省に交渉せしより斯く誤解せられたるものなるべし則ち現在在韓邦人小學校は總て內地より教員を招聘せるが實地の成績によれば殖民地の教育は特種の事情を有し隨て其教員の如きも之に恰當すべき訓練を積ましむるの必要あり旁々統監府は是非來年度豫算に計上すべく目下調查中なりと

外人設立の學校

學部最近調查に係る本年二月十九日現在外國人の設立に係る各私立學校種別は左の如くなるが左表は隆熙二年私立學校令により認可を與へられたるものにして學科課程中に宗教に屬する學科を加へたるものなりと

	學校數	外人	韓人	佛教	教師數
漢城府	二四	三三	二	…	八三
京畿道	四一	二三	六	…	八五
忠南	八	四	一四	…	二七
忠北	一七	七	…	…	一五
全南	三	三	…	…	五
全北	一三	八	二四	…	四一
慶南	二七	八	六	三	二九
慶北	一四	五四	二一	一	七九
江原	四	二	二	…	七
黃海	一八三	一七四	九	…	二二九
平南	二六一	二二七	三三	一	一三七
平北	一三三	五一	七〇	…	一六四
咸南	一六	一六	…	…	三一
咸北	…	…	…	…	…
計	八〇二	六八九	一〇五	…	五、二六

宗派別は長老教會五〇一監理教會一五八宗古聖教會四降臨布教々會他各教派合同三天主教四六宗派未詳耶教八四佛教は何れも韓人の設立にして其數僅に五

●赤十字社救護規定

今回設けられたる日本赤十字社韓國本部天災救護規定左の如し

第一條　韓國に於ける天災事變に際しては韓國本部は救護團を以て其救護を執行す

第二條　救護團の編成は左の如し

團長（救護醫員）	一名
救護醫員	二名
救護調劑員	一名
救護書記	一名
救護看護婦長（救護看護人長）	二名
救護看護婦（救護看護人）	二十名

場合に依り調劑員を除き又は通譯を付することあるべし

第三條　救護團は韓國在留の本社救護員を以て編成するものとす　但救護員を以て編成すること能はざる場合は臨時救護員を囑託又は雇用し之に代用することを得

第四條　總長は災害の程度に依り適宜編成人員を增減することあるべし

第五條　救護事業は總長地方官廳の囑を受け又は地方官長に依頼し之を實施す

第六條　救護團に要する材料の定數は總長之を定む

第七條　救護員には制服を着用せしむ但し場合に依り自服着用せしむることあるべし

第八條　救護團を災害地に派遣したるときは總長は派遣月日人名其他必要なる事項を當該官廳へ通知すべし

第九條　救護に着手したるときは總長は先づ其狀況を社長に報告し尙救護を結了したるときは左記の事項を詳記し報告するものとす

一、救護着手迄の經過

二、救護員及材料に關する事項

三、作業に關する事項

四、其他主要なる事項

第十條　救護員の給與に關する規定は總長之を定む

●警察方面會議終了

警務局に於ける警察方面會議十一日の日程は左の如くなるが尙は地方衛生會計各課長も臨席し右各課と警務關係の打合をなし畢て松井局長は本會の主旨を遵奉し飽く迄努力を望むとの訓示演說をなし是にて本會の終了を告げ各部長は隨意歸任すべしと

議事日程（警務局）

一、精神病者取締狀況　二、法令周知の法方及其既に施設せる事項

同上（地方局）

（一）郡守身元調查（二）郡守郡主事等と警察の連絡（三）警察と地方費の關係（四）證明事務取締（五）社寺財產の取締（六）地方行政と警察行政の連絡一致

同上（衛生局）

（一）種痘普及の實況（二）屠獸取締に關する狀況如何（三）市街に於ける除穢の實況如何

●典當舖取締の方針

農商工部所管に屬せし典當舖は其性質警察に關係深きを以て內部に移管せしが其後同部にて該取締規則を立案し既に農商工部の合議を經て度支部に廻付されたれば近々發布さるべし而して其內容は權利關係の確定及警察的取締を主とし利息の如きは別に制限せる法律あれば之に依らしめ隨時認可式を以て之を制限し又取締べき方針なりと云ふ

●進步黨建白書提出

韓國進步黨にては寺內新統監に長文の建白書を提出する事に決し同黨總裁閔泳隣は十日統監府に出頭し同建白書を差出せり其內容は三ケ條にして地方自治制の設置其他にて日韓合併に關しては何等記する所なしと

●開城美以教の旺盛

開城に於ける美以教會に於ては近來信徒吸收に力めし結果其効果著しく五月初旬より今日に至る迄に其數白名の信徒を得尙は入會續々盛なりと云ふ

●要塞地の漁業禁止

鎭海灣要塞司令部にては今回馬山沖にて海底電線工事に着手する爲め當分の中加德島の東南天城、天秀末より院浦沖に至る區間に漁網を沈設することを禁じたりと云ふ

●衛生講話と二學校

十日山根衛生囑託は南門內小學校同高等女學校及獨立門畔の中學校を巡閱し各學校衛生に關し一場の講話をなせり

●兇漢李在明公判期

李在明の公判は目下他の裁判事務多忙の爲め多分來月になるべしと云ふ

●警察官の茶話會

既報の如く警察茶話會は十一日午後零時三十分より鐘路廣通館にて開會頭本、國分、山根、倉富（未定）四氏講演の後某々兩紳士の浪華節あり畢りて茶菓を供する由なるが會員は三百人以上に上るべしと云ふ

●韓國銀行の招宴

韓國銀行にては目下入京中なる各財務監督局長を主賓として今十二日午後七時より清華亭に於て晚餐會開催の筈なるが當日は度支部の各高等官も出席の筈なりと云ふ

●仁川署採用試驗

仁川警察署に於て一昨十日韓人巡查採用試驗を執行したるが應募者十二名ありしと云ふ

●山本芳甫氏別宴

在京記者團有志は今回官吏となれる山本芳甫氏の爲十日食道樂にて清楚なる送別會を催せり

●露國書記生來任

神戶露國領事館在勤のグルベル氏は今回當地總領事館詰となり數日前既に着任したりと云ふ

●馬山の停車場

來る七月一日より馬山に停車場を新設せらるべし

●露國領事の入京

十日午後八時十分南大門着にて露國領事馬山より入京

頭本氏招待會（漢城基督青年會）

漢城基督教青年會は十日午後四時三十分より會頭タアナー僧正の名を以て今回米國より一時歸國せる元ソウルプレス社長頭本元貞氏の招待會を鐘路青年會館に於て擧行したり當日の司會者はタアナー僧正にて會衆は日韓英米佛人等二百餘、會は奏樂と祈禱を以て始まり第一に司會者の挨拶あり、次に有名なる米國オベリン大學の總長キング博士の演說あり、博士曰く、

余は東洋漫遊の途次當地へ立寄りたるものなるが計らずも當會合に臨み諸君と相見ゆるの機會を得たることを喜ぶ凡そ個人間の交際に於ても將た國家間の交際に於ても明かに四ツの異りたる時代がある其第一は相互憎惡の時代、第二は互に無識の時代、第三は互に自慢の時代、第四は相互諒解して互に敬賞する時代以上異なりたる四時代を經過したる後に於てこそ個人間も國家間も眞の友誼的交際を爲すことゝなるなり（中畧）世に日米戰爭を說くものあるも余は斯くの如き馬鹿〳〵敷且つ惡しき事はあらずと信ず、余は頭本氏が米國に於て從事せらるゝ事業は日米間國交親善の度を進むるに有效なりと信ず、余は頭本氏の來米を歡迎し同氏が平和の製作者とならんことを希望して止まずと云々

次に漢城青年會總務李商在氏亦頭本氏頌德の一演說を爲し尋で頭本氏は別項所載の答辭をなし、了つてタアナー僧正の祝禱及び奏樂を以て午後六時閉會したり、尙當日は在留外人の夫人令孃總出にて來會者に向つて茶菓の饗應を爲したり

●東拓漁場紛爭解決

平安道に於ける東拓會社の漁場に於て紛擾を醸したることは既に世[…]所なるが紛爭の原因は多々あ[…]も最近の原因は請負者岡十郎[…]する事務員が無經驗にして漁[…]する道を知らず不親切を極め[…]多數の漁夫は激昂して會社と[…]としたる爲め東拓會社にては[…]して直ちに不正事務員を解[…]事なきを得たる由なり

●最近の農業放資高

吾が邦人の韓國に在りて農事を爲し居るものは其數尠からざ[…]各理事廳の調查せるものを總[…]其數三百七十三人にして此放[…]十一万九千四百五十圓を算せ[…]本調查は千圓以上の放資者を[…]ものゝ由なるが實際は屆出洩[…]匿等尠からざれば此數倍なら[…]

●京城教育會の總會

既報の如く十日午後七時より[…]會議所樓上に於て教育會總會[…]浦會長開會の辭を述べ衛生顧[…]次氏の講演あり終りて琵琶歌[…]の餘興あり來會者七十餘名に[…]盛會なりき

●朴泳孝東萊溫泉

朴泳孝氏は愈々東萊溫泉に靜[…]十一日馬山より同地に向へり[…]の近狀に就ては巷評のみなら[…]たロづから時事に對し放漫な[…]敢てせるも是れは例の漫言に[…]としては那等企畫する處なり

●駐清獨逸公使館

北京駐劄獨逸公使館書記官ス[…]氏は微行にて八日入京ソンタ[…]滯在中なるが氏は統監府へ[…]ず自國領事館及其他二三の方[…]に往來して何事か調查し居れ[…]數日間滯在東京へ向け出發す

●高義駿召還せら[…]

新統監に秋波を呈し自黨の立[…]らん魂膽を以て渡日せる高義[…]國の威風凜として容易に近接[…]みならず種々なる風說を立て[…]使命を逹し兼ぬる處あるを憂[…]は至急歸韓すべきを電命せり

●永宗島の豫防勵行

仁川署管內永宗島は昨年惡疫[…]りしのみならず虎疫病原地な[…]本年は之れを未發に防ぐべく[…]川署より金警部外巡查出張し[…]潔法を勵行したりと云ふ

●飯田畫伯に盃下賜

曩きに畫家飯田桂三郎氏より[…]の（秋趣谿妍）壹幅統監府を經[…]帝へ獻上せしに韓皇には御嘉[…]に今回御紋付銀製葡萄酒盃一[…]せられたりと

●內閣書記官長歸京

首相李完用氏に附隨して溫陽溫泉に赴きたる內閣書記官長[illegible]

●中村一旅團長赴任

[illegible]

●山田海軍中將消息

[illegible]

●仁川居留民會開會

[illegible]

●吉原總裁の出發

[illegible]

●キング總長の出發

[illegible]

▲治外法權▼

[illegible]



京城の裏面 (二)

濡手で粟慾脫裏 (五)

川合は猶は山崎に向ひ津城が脫ぎ棄てたる服裝一切を取り纏め此れは自分が貸與したるものなるが彼れの行爲斯くの如くなる以上貸與し置き難ければ取り上げんと思へども本人不在中實行なし持ち返るも如何なれば貴君に於て保管し置かれたしとて其の同意を得たるが一方北島は津城より立替金其の他にて約二十圓餘の損害を受け居る者なれば共同者たる貴君は之れを支拂ふの義務ありと强談せり然るに山崎は之れをも承諾し二十二日中に約束を果すべしと誓言したるは夜も明け放れたる二十二日午前四時過ぎなりしも逃げ失せたる**津城**は歸り來らざるより一先づ三人は多田を遺して同家を辭し同日午後再び訪問したるは山崎が既に川合より保管を托されたるものを津城に渡し何方へか**逸**せしめたる後の事なりしかば茲に再び激烈なる談判となりたる結果川合に對し十二圓七十八錢の被服費を約手にて北島に對し**現金**二十圓を支出したるは既記の如し然るに其の後山崎方より川合に對し事業に加入方を勸誘し來りぬ川合は之れに答ふるに然らば資金**一二百圓**を調達せられ以て合同の實を擧げられたしと**主張**し押し問答中山崎は六月二日突然恐喝取財として前記の三人を本町憲兵分隊に告訴したるなり以上は被告訴者等三者に恐喝取財の意志ありしや否や[illegible]如し然り此の犯罪は**偶發的**のものにして最初より金圓を[illegible]ざるは事實なるが如きも[illegible]果は犯罪を構成する[illegible]ば此行爲が若し北島は知らず川合楠本の如き津城の爲に受けたる損害を共同者山崎に代辨せしめんと謀りたるも思ひ切り惡るく**目先の見へ**ざるより此所に立ち至りたるものと云ふべきか惡や眞に**憫殺**に値す[illegible]れ等は二十二日の夜北島に於て偶然落ち合ひたるが如く唱ふるも實は本町八丁目**東雲亭**に於て會飲したる事實あり北島が山崎宅に躍り込み脅迫を[illegible]てたる衣類は問亭の酌婦が門前に於て保管し居たる事實もあり更らに廿二日夜も同亭に於て飮食したる事實もありと云ふ情は兎に角不謹愼と云はざる可らず、更らに之れを山崎方に見んか彼れも身官吏の班に列しながら市井の**一小人**津城の爲めに利を以て誘はれ上長を欺き利を逐はんとし川合等を騙りて**前記の擧に出**でしめたるは**德義上**の一大罪を犯したるものと云ふべく其の龍山十五間道路大北鐵工場をして瓦斯發生機を作らしめ工賃支拂を延引したるが如き應募人夫に川合同樣强談を持ち込まれ居るが如きは決して利巧の者と云ふ可らず（續）

女破落漢の引致

▽仁川淺岡を種に詐欺

十日筆洞分遣所の手に捕へられたる長崎縣西圓城郡伊尾島村生れの一の瀨はる(三七)と云ふは今より五年以前良夫春之助と同道渡韓したる者なるが一年程して事情ありて離別しはるは仁川方面にて仲居稼ぎし春之助は當地に於て料理人稼業をなし居れる由なり扨もれはるは本年四月二十日開城の料理店日の丸に至り小倉市旭町塚田はる(三一)と僞名し自分の娘れ何が淺岡に藝妓稼ぎ中なるも思はしからされば抱へ呉れずやとの事に同家にては五月十日頃仲居の安藤こうなるものを同伴せしめたるに上京後二人とも櫻屋旅館に滯在中はるはこうより小遣錢を騙取し同月二十一日同館女中の蝙蝠傘を携へ立出でたるまゝ姿を隱したにぞ宿屋よりはこうに對し宿代四十圓を請求し同人は開城より金を取り寄せ漸く之れを濟し飛んだ災難と諦めて立ち歸りたる後はるは若草町の某家に潛伏入々弄なぞなし居たるを引致の上取調中なりと

前非を悔ゐて縊死

▽哀れなる身の成る果

仁川京町なる婦人旅館開豐館に於て[illegible]樂したるを悔び阿片を[illegible]を得て避病院に收容せ[illegible]踊りしも其目的を果さ[illegible]號にて報道する處あり[illegible]り小池廣楠の甥小池德[illegible]其後仁川病院分院行旅[illegible]收容せられ手厚き看病[illegible]しが冷けき枕の下に前[illegible]も世もあられず寧ろ罪[illegible]申譯けするにしかじと[illegible]二時頃同室內に於て蒲[illegible]ん事縊死を遂げたりと[illegible]署より警官醫師出張し[illegible]体は民團役所の手にて假埋葬に附したりと

店員の詐欺取財

▽賣掛代金を騙取す

各商店の番頭丁稚等にて主人の目を偸まし或は店の金を掴み出し又は品物を盗み之れを賣り拂ふて得る金は遊廓若しくは酌婦等に注ぎ込み遂に身を過まつに至る者多きは實に慨かはしき極みなり當地南山町二丁目酒商中村支店と云ふは下川ます女の經營なるが四十二年十月山口縣人**若杉**信一(三)を店員として雇入れしに初めの程は誠に正直に立ち働くよります〳〵女も深く信用し居たる間信一は友人某に誘はれ太平町の飮食店**太平樓**に於て飮酒し其の夜は遂に同家に宿り込み白粉臭ひ足の大きい女を抱かせられしより味を覺へたるも何分**給金**の八圓丈けでは面白い遊びは出來んと茲に善くない量見を起し店の金をば掴み出し新町**淸進樓**に押し上りたるに一夜の勘定八圓餘なりしにぞ信公大に考へ込み是を酌婦に比べると尋常なるの味は幾らもないのだから一遍よりは三遍が善いと云ふものは太平樓、長谷川町の幾代、〇万と**酌婦專問**に[illegible]業を休み居たるを伴頭の知る所となり三月末日解雇せられたる後は知人の家を泊り歩行き一定の住所を有せざりし四月二十日大和町料理店**南海軒**に中村支店より四斗樽一挺(代二十圓)を送りたるを聞き込み之れを騙取し五月八日には旭町一丁目**大野雜貨店**より同樽(一挺代十八圓)一挺分を**騙取**し得たる金は酌婦に注ぎ込み居たるを其の筋の知る所となり引致の上餘罪ある見込にて目下取調中なりと云ふ



女振り　京城酒見安君の女 江君

主人は酒見安君と云ふ、産地は福岡縣で四十萬以上の資産家であつた相なが父なる人が炭坑に手を出して石炭だけに財産を烟に振つて仕舞つたのだが安君は其の資産家のお坊ちやんと生れて乳母手車で育つた、一年志願兵の正八位勳六等である、日露戰役に豫備少尉として出征し遼陽方面に轉戰し沙河の戰に特勳を樹てゝ功五級に叙せられた名譽の武夫である、此の名譽の猛者も時利あらず今日では京城樓の親方さんである、君江さんのお實家は預ることして此の資産家に嫁ぐだけの資格ある家に生れた、花でも茶でも裁縫でも琴三味線まで悉く堪能である、就中和歌は最も得意で齒は近衞流を善くせられる此の點に於ては京城婦人界に稀れなる者である、併し稼業柄抱へ妓や仲居からはれ女將さんと呼ばれれ女將小指なぞとも言はれて居る、流石に出が出だけあつて何所となく奥床しい所がある氏素性と云ふものは爭はれぬものだ、優しい裡にキリッとした所があつて隅から隅まで行き屆いたものだ、本年三十一の女盛り、此の頃では杖を叩いての鼠鳴きもナカ〳〵上手になられた相な。

醜吏の豫審決定

▽古城民長の附帶私訴

兼て豫審中なりし京城民團醜吏の横領罪は去る九日決定京城地方裁判所の公判に移されたるを以て古城民長は右に對し附帶私訴を提起せんとて目下其手續中なりと因に醜吏共か私消せる金額は左の如し

(百四十六圓)末廣幸作(七十九圓七十六錢)戶田登十四圓七十四錢)本田平藏(三十六圓六十九錢)白濱千春(百五十九圓四十九錢)橋本六助(九百六十九圓七十四錢)戶田登、磯野幾吉(八百八圓七十一錢)白濱千春、橋本六助

而して宮村直人及藏喜三の二人は內勤にして直接私消せざるも責任上同罪に問はれたるものなりと

●世にも哀の孤兒

市內蓬萊町四丁目辻本某は過日詐欺取財の罪に依り入監せしが妻のれ何は言う樣なき人鬼にて夫の留守を頑是なき娘を慈じみ出獄の日を指折數へて待つ等は思ひも寄らず自墮落の振舞に近所の人より爪彈きさるゝも意に介せず遂には有うことか現在血を分けし愛娘の四歲になるを置去りに何處ともなく逃亡したるにぞ西部警察にて引取り育み居りしも何日迄其儘にも置れず民團に引渡し本願寺の行路病者收容所に於て養育することゝなりしが未だ浮世の風の荒きも知らぬ頑是なき身を八でなしの母を持し許りに斯る憂目に遭ひしこそ哀れなり

●辮髮を引き切る

西小門內在留淸國人張福金(三七)は西部養生坊倉洞三十七統一戶雜貨商金起澤(十九)宅に到りパイプ二個を買ひ求んと其代金を聞きしに一個二十錢と云ふより二個を二十錢に値切り無理に二十錢を支拂ひ立ち去らんとするを金は張の後より取戻さんとして辮髮を引張り尾端に組付ある小紐を引き切りしとて淸國人より損害賠償を訴出しに付双方取調しに惡意無き爲め說諭放免

●質の惡い惡戲者

仁川猫島南海樓外四樓の酌婦は十日外出して歸宅したるに如何はしけん何れも晴れの衣裳に黑のペンキ附着し居れるにぞ其場に泣き崩れ直に花房町派出所に訴出で取調べを乞ひたる結果右は同地淀川樓船越六三郎の長男平三郎(一七)が密かに惡戲を爲したるものと判明せしかば本人に對し說諭をなすと同時に同樓主をして損害要償を爲さしめしと

●八十錢の說諭願

竹園町一丁目塗物業池田松次郎(三一)は十日午後十時頃何處で飮んでか泥醉して鍾洞分遣所に說諭願を申出たるも言語不明なる爲め一時靜置覺醒の末取調しに五月十五日頃本町八丁目簞笥商某に塗物代八十五錢を支拂ふ樣ごの願出に付相對請求示談す可き旨嚴命して放還

店員評判記 (十二)

龜屋支店々員　秋本岩次郎君

岩次郎君は下關市岬元町で明治十五年六月四日生れた、渡韓したのは三十三年九月上旬で直ちに龜屋本店に入店したのだ、爾來陰日向なき勤め振りは進君の認むる所となつて拔擢せられて一寸云へば次席と云ふ位置に居つたが明治四十一年五月二十七日進君が大阪東區高麗橋通りの富屋商店と組合つて龜屋支店を創設することになつた、岩次郎君は龜屋側の代表者として支店の方へ回されたのである相だ、如何に進君に信用せられて居るかは此の一事を以て知らるゝであらふ、嗜好は總ての音樂で鳴る物と云つたら何んでも好きだ、併し舌打らとオクビとは論外たること勿論である

●第一樓春野の廢業

新町遊廓第一樓本店春野は明治四十年五月以降漢京に於ける多くの醉士連を手玉に取りたる賣つ妓の一人なりしが滿期となり十一日限り泥足を洗ひ廢業せりと云ふ

神と佛

●京城基督教會　日の出町同教會にては午前九時より大小人共「花の聖日禮拜」午後八時よりは米澤牧師の傳道說教「內外の照應」ありと云ふ、參聽隨意

●日本基督教會　旭町四丁目同教會にては午前九時より日曜學校十時より禮拜說教「信仰生活の發展」石原牧師午後八時より篠澤武夫氏の傳道說教ありと

●メソヂスト教會　旭町二丁目の同教會にては朝木原牧師の禮拜說教「收穫の方法」午後八時より丹羽淸次郎氏の「品性の進化」なる傳道說教、參聽隨意

目と耳

▲歌舞伎座　休場中なりし同座に於ては今回東京横田商會の活動寫眞にて十一日夜より花々敷開場する由なるが其の映畫の重なるもの左の如し　東北特別大演習、韓人の綱渡り、大悲劇緋縅男、日本喜劇國旗の光、奇術座ホテル、乳母のストライキ

▲壽座　日本各地を巡業し到る所の大喝采を博したる東京落語界の人氣男身振り人情話しを得意とせる金馬の大一座は博多川丈座打揚げ十三日當地壽座に乘り込み翌十四日より花々敷開演すと云ふ一行中には尺八の名手日比野花堂及洋行歸りの曲藝師丸井鑑太郎及八歲の小供の手踊り等もありと云へば何んだか其の日が待ち遠なり

▲御成座　同座十二日の替り藝題は蝶花形名題の島臺にして何間磯より二十五錢均一とし藝妓、天狗連の出演もありと云へば大入は受合なり

▲龍山座　同座にては同回浮れ節芝居市川鯉之助一座を招き十四日初日開演の都合なるが眼先きの變つた物丈けに好評を博することとなるべし

▲仁川歌舞伎座　連日の大入に十二十三兩日の日延をなしたる若燕十二日夜の讀み物は御前講談無筆の出世、義士赤垣源藏、雛冠山の土屋將軍

●御成座の人形芝居

▽珍らしいので大受け

先般南大門外に新築せられた御成座は劇場開きとして人形芝居を興行中であるが中々面白い、それに韓國では珍らしいから人氣も頗る宜しい、淨瑠璃は筑登が異で筑佐がスケで糸は文吾が立である、此外女太夫に岡八と鶴尾と云ふのがある、何れも九州式の大夫の事とて詞に聊かの訛りはあれど聲柄の宜い方で殊に筑登の語り口は悠揚迫らず三段目語りとしての眞價は十分である女太夫の方では鶴尾の方が一二枚上ではあるが語り口のタチは岡八の方が宜いようだ、前途の見込も此方にある、人形では万造の女形が僅かに一頭地を拔いて居る宜なり彼れはその昔し文樂座で今の大掾時の越路の淨瑠璃で矢張り女形を遣つた事もあるそうだ、●此外又造、民吉抔も達者な者である(公生)

●東洋日報義太夫會

▽當地壽座に於て

同社にては主催素人義太夫投票完了したるを以て十二日午前十時より一等より十五等迄の當選者に賞品受與式を擧行し右終つて午後一時より演奏會を開き午後十二時散會の筈なりと云へば定めし盛況を呈することなるべし

●京城觀世素謠會

來る十五日(水曜日)夕刻より旭町一丁目松秀庵に於て第八回月次會を催す當日番組　加茂(高杉氏杉山氏ツレ和泉氏)放下僧(栗並氏伊藤氏ツレ福垣氏)養風(柴田氏井上氏ツレ三好氏)籠太鼓(木村氏佐治氏)安達原(片山氏菱谷氏ワキツレ秋場氏)獨吟仕舞

今日の運勢

六月十二日舊五月五日九紫　先負戊申滿入梅△一白　不統一の日新事及婚談依賴請願見合せの事酒色を戒しむ△二黑　開店業仕官就職行商旅行に吉療病衛生の上に注意すべし△三碧　盛運日なり大抵吉務惑若くは要求避くべし△四綠　會心の日見孫の事を謀るに適す證券印章の事注意△五黃　共同組合依囑開店業旅行に吉要求懇願に遭ふの恐れあり△六白　新事見合の事改築土木金屬に關する業務に吉△七赤　背弛の日新事及共同組合婚姻養子の事凶横領遺失防ぐべし△八白　快欣の日大抵吉金屬に關する業務に尤も適す△九紫　新事旅行見合すべし曜間中絶の恐れあり火の元用意

六月十三日舊五月六日一白佛滅己酉中△一白　新事旅行見合せの事盜難紛失の恐れあり△二黑　不振の日新事見合せの事爭訟羨廢の端起り易し倘婚姻養子依託相續効なし△三碧　旅行談判請願改革整理吉婚姻養子共同組合に凶△四綠　會心の日なり大抵吉殊に紛議解決示談中裁に妙△五黃　衰頹日新事見合せの事紛爭盜害防ぐべし△六白　援助便宜を得る事あり中絶不和の端起り易し△七赤　利益ある日なり療病衛生に注意すべし△八白　澁滯多し取引貸借金談談議に忌む遺失防ぐべし△九紫　散亂の日婚姻共同組合貸借請願勤無し倘旅行に忌む(本町五丁目三一館判新)

●天氣豫報 (自十一日午後六時至十二日午後六時)

西の風晴後曇

十一日(華氏)　最高温度　八〇、一　最低温度　五七、二